平成29年04月23日

「青少年のための科学の祭典２０１７」ひょうご6会場大会（第23回）

開催要綱

開催趣旨

わが国の青少年の科学離れが指摘されてから既に十年ぐらい経つでしょうか。自然の豊かな潤いのある環境を守りつくることは、国をあげて取り組まねばならない最も重要な課題のひとつです。

人々の生活は、科学技術に支えられています。科学技術は必要不可欠なものですが、その一方で、科学に対する興味や関心が低下傾向にあることは、国の将来の大きな夢を育むこれからの人暮らしのまた学校教育の中でも、科学と科学技術の進展が猛烈な速さで進展している現代社会において、科学の真の面白さ、楽しさを体得し、未来へ向かって自ら学ぶ意欲を育むことは、科学技術創造立国を目指す我が国の教育の最も重要な課題のひとつです。

以上の観点から私達は、彼の阪神淡路大震災からの復興の思いも込めて、大震災から1年が経つ寸前の1996年1月6,7日に「’95 青少年のための科学の祭典」神戸大会（第１回）を神戸市立青少年科学館（バンドー神戸青少年科学館）で開催し、1998年度からは兵庫県下に独立した会場を増やしながら過去22回開催してきました。その間、毎年新たな一歩を踏み出す大会を開催してきました。理科・自然科学教育の本質は、系統的な教育にあります。即ち、一つ一つが積み上げて理解した上に、更に高度な内容を教え理解を促すと共に、それぞれの理科・自然科学教育の進展なくして、若者の理科離れは無くなりません。そして、地域の住民、団体が学校と手を携えて子ども達の教育を進めることが肝要です。

私達は、科学の祭典が単なる一過性のお祭りで終わることなく、その地域の系統的な日常学校教育の展開に寄与する事を希求しています。そのために、以下の方針で兵庫県下６会場で、科学の祭典を開催します。

（１）兵庫県の広い地理的条件を考慮し、摂津、播磨、但馬、淡路、丹波の５地域、６会場で開催する。

（２）実行委員会組織は、その地域に生活と教育の基盤を置く人達で独立に構成する。

（３）その地域に生活と教育の基盤を置く人達が、企画、準備、演示・展示・実験等の開催の全てを行う。

（４）科学の祭典の開催にあたっては、高校生等をスタッフとして採用し、教師と生徒との良いネットワークを創りあげる。

（５）青少年科学の祭典ひょうご県内大会連絡協議会は、５地域・６会場の実行委員会を緩やかに結ぶ。

こうすることにより、その地域の日常学校教育と科学の祭典活動が有機的に結びつき、おおいに発展に繋がると信じています。2016年度は、教師とそれを上回る数の高校生スタッフが延べ1,000人余参加し、14,729人の青少年達が来場して、科学の面白さ、楽しさを実体験しました。2017年度は神戸市（摂津の国）、姫路市と加古川市（播磨の国）、豊岡市（但馬の国）、洲本市（淡路の国）、丹波市（丹波の国）の６会場で開催します。

私達は、”青少年のための科学の祭典”ではありますが、第１回大会に「青少年による科学の祭典」を掲げて以来、その良さを深めながら、毎年新たなテーマに挑戦してきました。2017年度は科学の祭典の原点に戻り、「青少年による科学の祭典、青少年を支える地域住民による科学の祭典」を目指して５地域６会場で開催します。

開催概要

●タイトル：「青少年のための科学の祭典２０１７」ひょうご６会場大会（第２３回）
豊岡会場大会　丹波会場大会　東はりま会場大会　淡路会場大会
姫路会場大会　神戸会場大会

●会場および期間

豊岡会場	：7月29日（土）、30日（日）	兵庫県立但馬文教府（豊岡市）
丹波会場	：7月30日（日）	ゆめタウン「ポップアップホール」（丹波市）
東はりま会場	：8月 5日（土）、6日（日）	兵庫県立東播磨生活創造センター（加古川市）
淡路会場	：8月19日（土）、20日（日）	洲本市文化体育館（洲本市）
姫路会場	：8月19日（土）、20日（日）	兵庫県立大学姫路工学キャンパス（姫路市）
神戸会場	：8月26日（土）、27日（日）	バンドー神戸青少年科学館（神戸市）

●主　催　：
「青少年のための科学の祭典」
豊岡会場実行委員会、　丹波会場実行委員会、　東はりま会場実行委員会、
淡路会場実行委員会、　姫路会場実行委員会、　神戸会場実行委員会、
（公財）日本科学技術振興財団・科学技術館、（公財）ひょうご科学技術協会、
日本物理教育学会近畿支部、関西サイエンス・フォーラム
神戸大学紫陽会（国際人間科学部同窓会）、神戸大学くさの会（理学部同窓会）、
（社）神戸大学工学振興会（ＫＴＣ、工学部同窓会）

●実行委員会

ひょうご県内大会連絡協議会	委員長	原　俊雄	（神戸大学学友会会長）
	事務局	中澤　克行	（兵庫県立神戸高等学校）
神戸会場委員会	委員長	原　俊雄	（神戸大学学友会会長）
	企画	中澤　克行	（兵庫県立神戸高等学校）
	広報	常深　俊規	（神戸市立神戸工科高等学校）
	広報	釜谷　尚史	（神戸市立六甲アイランド高校）
	会場	手塚　理恵	（神戸市立摩耶兵庫高等学校）
	会場	高田　泰英	（兵庫県立長田高等学校）
	会場	中垣　篤志	（神戸大学附属中等教育学校）
	計	前平　敦子	（兵庫県立星陵高等学校）
	監査	谷後　栄一	（神戸市教育委員会）
	監査	秋山　和義	（元　兵庫県立高等学校）
姫路会場委員会	委員長	遊佐　真一	（兵庫県立大学大学院工学研究科）
	事務	井上　敏彦	（兵庫県立伊和高等学校）
	会場	大塚　晴輝	（兵庫県立福崎高等学校）
	会場	山本　一芳	（兵庫県立龍野高等学校）
	全体	円尾　豊	（元県立高校教諭）
	広報	藤　武弘	（兵庫県立姫路飾西高等学校）
	会計	桂　真弓	（姫路市立増位小学校）
	監査	吉田　哲	（東洋大学附属姫路高等学校）
	監査	大平　雅子	（兵庫県立星陵高等学校）
豊岡会場委員会	委員長	東　正敏	（兵庫県立八鹿高等学校）
	企画	鎌田　浩史	（豊岡市立豊岡南中学校）
	広報	宮垣　紀子	（豊岡市立豊岡北中学校）
	会場	澁谷　亘	（兵庫県立豊岡高等学校）
	会計	大森　博一	（豊岡市立豊岡小学校）
	監査	成田　浩	（元　豊岡市立小学校）
	監査	中島　健	（元兵庫県立高等学校）
淡路会場委員会	委員長	上田　浩嗣	（兵庫県立淡路三原高校）
	企画	西山　真司	（兵庫県立洲本高等学校）
	画報	堀　真也	（兵庫県立洲本高等学校）
	広報	玉久保　敦也	（兵庫県立津名高等学校）
	会場	森原　康好	（柳学園中学・高等学校）
	会計	森原　康好	（柳学園中学・高等学校）
	安全	笹木　義雄	（柳学園中学・高等学校）
	監査	坂田　裕之	（兵庫県立淡路三原高等学校）
	監査	中村　貴胤	（兵庫県立洲本高等学校）
	監査	石田　宏記	（兵庫県立洲本高等学校定時制）
丹波会場委員会	委員長	谷川　直也	（岐阜聖徳学園大学教育学部）
	企画	宇治　宮隆文	（兵庫県立多可高等学校）
	広報	小西　諒	（篠山市立城北畑小学校）
	会場	佐野　聡	（丹波市立進修小学校）
	会計	鳥首　美和子	（篠山市立今田小学校）
	監査	吉竹　茂晴	（篠山市立味間小学校）
	監査	宮垣　覚	（兵庫県立神戸高塚高等学校）
東はりま会場委員会	委員長	道之前　允直	（甲南大学名誉教授）
	安全	道之前　允直	（甲南大学名誉教授）
	企画	大平　雅子	（兵庫県立星陵高等学校）
	企画	古田　ハルカ	（兵庫県立東播磨高等学校）
	広報	岡田　善嗣	（元　川崎重工業株式会社）
	会場	東田　純一	（兵庫県立明石高等学校）
	会場	小松　史道	（兵庫県立明石高等学校）
	会計	植田　好人	（神戸大学附属中等教育学校）
	監査	安藤　武弘	（兵庫県立姫路飾西高等学校）
	監査	東田　純一	（兵庫県立明石高等学校）

●　共催：公益財団法人東播磨青少年本部

●後　援　：
文部科学省、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、バンドー神戸青少年科学館、
兵庫県立大学、姫路市教育委員会、（公財）兵庫県生きがい創造協会但馬文教府、
豊岡市教育委員会、養父市教育委員会、朝来市教育委員会、新温泉町教育委員会、
香美町教育委員会、洲本市教育委員会、淡路市教育委員会、南あわじ市教育委員
会、丹波市教育委員会、篠山市教育委員会、加古川市教育委員会、明石市教育委

員会、高砂市教育委員会、稲美町教育委員会、多可町教育委員会、西脇市教育委員会、播磨町教育委員会、東播磨県民局、兵庫県立東播磨生活創造センターかこむ、特定非営利活動法人シミンズシーズ、神戸大学物理学科同窓会、兵庫県小学校教育研究会理科部会、兵庫県中学校教育研究会理科部会、兵庫県高等学校教育研究会科学部会、兵庫県高等学校教育研究会生物部会、神戸市小学校教育研究会理科部、神戸市中学校教育研究会理科部会、神戸市高等学校教育研究会理科部会、姫路市小学校教育研究会理科部、姫路市中学校教育研究会理科部会、姫路市高等学校教育研究会理科部会、神戸市ＰＴＡ協議会、全国科学館連携協議会、全国科学博物館協議会、日本放送協会（NHK）、日本物理教育学会、日本理科教育協会、日本基礎化学教育学会、日本科　学教育学会、日本理科教育学会、（社）日本物理学会、（社）応用物理学会、（社）日本化学会、（社）日本アイソトープ協会、（社）日本理科教育振興会、（社）関西経済同友会、（財）日本私学教育研究所、日本教育用理科機器協議会

●協　賛　：　科学の祭典を支援してくださる各団体、企業等

●事務局　：

▲ **ひょうご県内大会連絡協議会事務局および神戸会場事務局**：
兵庫県立神戸高等学校（中澤　克行）　〒657-0804 神戸市灘区城の下通1-5-1
Tel(078)861-0434　Fax(078)861-0436　E-mail：saiten@hyogo-c.ed.jp
▲ **姫路会場事務局**：兵庫県立伊和高等学校（井上　敏彦）
〒671-4131　宍粟市一宮町安積616-2
Tel(0790) 72-0240　FAX（0790）72-0241　E-mail：tossy_inoue@yahoo.co.jp
▲ **東はりま会場事務局**：（大平　雅子）
〒671-2203 姫路市書写台3丁目55番地
Tel 090-5015-5419　Fax(079)266-4082　E-mail：mohira@mta.biglobe.ne.jp
▲ **豊岡会場事務局**：豊岡市立豊岡南中学校（鎌田　浩史）
〒668-0041 豊岡市大磯町1-65
Tel(0796)22-2546　Fax(0796)22-2746　E-mail：kamata@maia.eonet.ne.jp
▲ **淡路会場事務局**：兵庫県立洲本高等学校(西山　真司)
〒656-0053　兵庫県洲本市上物部2-8-5
Tel(0799)22-1550　Fax(0799)22-3494　E-mail：ichinomiyah16@yahoo.co.jp
▲ **丹波会場事務局**：兵庫県立多可高等学校（宇治宮　隆文）
〒679-1105　兵庫県多可郡多可町中区東山５５３番地
Tel(0795)32-3214　Fax(0795)32-3375　E-mail：ujimiya3@hotmail.com

参加対象

小学生　中学生　高校生　大学生　学校理科教員　学校教員一般
その他一般（父母、幼児から高齢者まで）

●参加人員：

豊岡会場	：２日間で、約	1,300人（見込）
丹波会場	：１日間で、約	750人（見込）
東はりま会場	：２日間で、約	2,000人（見込）
淡路会場	：２日間で、約	900人（見込）
姫路会場	：２日間で、約	3,000人（見込）
神戸会場	：２日間で、約	4,000人（見込）

内容構成

●主要内容：青少年が自然科学や科学技術の楽しさを体験できる実験や科学工作等
１．演示・展示コーナー　２．実験コーナー　３．工作コーナー
４．ステージ　５．ワークショップ　６．質問コーナー

●出展数（予定）：
豊岡会場：３５　丹波会場：３０　東はりま会場：３５　淡路会場：２０
姫路会場：３５　神戸会場：４０